

## 新型コロナウイルス感染症 三鷹市緊急対応方針に基づく取り組みの実施状況（令和2年10月31日現在）（抜粋）

No.	項目	事業	方針	実施時期	実施状況	連絡先
1	1 市民生活のセーフティーネットとなる支援	子育て世帯臨時特別給付金	第1弾	5月～3月	国の、子育て世帯への臨時特別給付金（児童一人当たり1万円）について、5月1日付けで2億円余の補正予算を専決処分しました。国の対象要件である児童手当受給世帯の児童18,240人に対し、市独自の「子どものための給付金」と合わせて給付しました。 10月31日時点の給付率 99.8%	子育て支援課 (内線2750)
2	1 市民生活のセーフティーネットとなる支援	子どものための給付金	第2弾	6月～3月	国の補助事業として実施する「子育て世帯への臨時特別給付金」の給付に合わせ、在宅生活を余儀なくされている子どもたちを応援するための「子どものための給付金」を、国の「子育て世帯への臨時特別給付金」では所得制限により対象外となる子どもも対象に加え、1人あたり1万円を給付しました。（10月31日時点の給付率 99.8%）	子育て支援課 (内線2750)
3	1 市民生活のセーフティーネットとなる支援	ひとり親世帯への臨時特別給付金	第3弾	7月～3月	国のひとり親世帯臨時特別給付金について、対象要件である6月分児童扶養手当受給世帯や新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入が減少した家計急変世帯に対し迅速に給付金を給付しました。生活全般への影響が長期化する中で、制度の周知・啓発を継続し対応します。 10月31日時点の児童扶養手当受給712世帯への基本給付給付率 100%	子育て支援課 (内線2750)
4	2 中小企業及び協働事業者の経営継続に向けた支援	三鷹市立アニメーション美術館（三鷹の森ジブリ美術館）の運営支援	第2弾	7月～	休館している三鷹市立アニメーション美術館（三鷹の森ジブリ美術館）の本格的な再開に向けた支援として、入館者数を大幅に制限し感染防止対策を講じるなど安全面に配慮しつつ、三鷹市民限定の「プレオープン」を実施しました。その後、9月からは一般向けのチケット販売を再開しました。	芸術文化課 (内線2910)
5	2 中小企業及び協働事業者の経営継続に向けた支援	川上郷自然の村の運営支援	第3弾	9月～	校外学習施設・市民保養施設の川上郷自然の村は、感染防止対策を講じながら、6月19日から施設利用を再開しています。4月中旬から約2か月の臨時休業や小学校自然教室の日程短縮、中学校自然教室の実施学年変更により経営への影響が生じていることから、当該減収相当分の補填に係る運営支援交付金を9月補正予算に計上し、指定管理者による施設運営の継続への支援に向けて準備を進めています。利用者数の状況など、引き続き経営状況を確認しながら、必要に応じて別途対応を検討していきます。	総務課 (内線3213)

## 新型コロナウイルス感染症 三鷹市緊急対応方針に基づく取り組みの実施状況（令和2年10月31日現在）（抜粋）

No.	項目	事業	方針	実施時期	実施状況	連絡先
6	3 子どもたちの支援	保育施設及び学童保育所での保育の確保	第1弾	4月～6月	4月9日から保育園、学童保育所ともに、保護者に登園（所）自粛を要請し、自粛者には4月から6月までの保育料・育成料を減免しました。（平均登園（所）率は保育園4月14.6%・5月24.2%・6月67.3%、学童保育所4月12.9%・5月18.9%・6月58.0%）。また、児童の安全と保護者の安心を確保するため、全ての学童保育所に入退室管理システムを導入し運用しています。	児童青少年課 （内線2710） 子ども育成課 （内線2701）
7	3 子どもたちの支援	保護者が入院・隔離となった際の子ども支援	第2弾	6月～	保護者が新型コロナウイルス感染症により入院・隔離となった場合で、子どもが一定の年齢に達していることで自宅に残り子どもだけで生活するような状況が生じた際、新たに構築した宅配システムを活用して子どもに食事を提供する体制を整えました。	子ども発達支援課 （内線2770）
8	3 子どもたちの支援	保育施設等への運営支援	第2弾	4月～6月	三鷹市が感染症拡大防止の観点から登園や利用の自粛を要請したことに伴い、保育料等が減収となっている保育施設があることから、減収補填を行うことで継続的な施設運営を支援しました。 対象施設・事業：地域型保育施設、認証保育所、一時預かり事業	子ども育成課 （内線2735） 子ども発達支援課 （内線4152）
9	3 子どもたちの支援	保育施設等従事職員の応援	第3弾	11月～	緊急事態宣言後においても、必要な方へ保育サービスを継続して確保するとともに、子どもへの感染防止に細心の注意を払いながら業務に当たる保育施設等の従事職員の方に、感謝の意を込めて全国共通の商品券を贈呈します。	児童青少年課 （内線2711） 子ども育成課 （内線2738） 子育て支援課 （内線2758） 子ども発達支援課 （内線4152）
10	3 子どもたちの支援	保育施設等における感染症防止対策	第3弾	4月～3月	保育園、幼稚園、学童保育所、一時預かり事業などにおいて、感染症防止対策を適切に実施するため、国の補助金を活用し、感染防止用の衛生用品等の購入を支援します。	児童青少年課 （内線2711） 子ども育成課 （内線2735） 子育て支援課 （内線2758） 子ども発達支援課 （内線4152）

## 新型コロナウイルス感染症 三鷹市緊急対応方針に基づく取り組みの実施状況（令和2年10月31日現在）（抜粋）

No.	項目	事業	方針	実施時期	実施状況	連絡先
11	4小・中学校における学習・感染症対策支援及び保護者負担の軽減	児童・生徒の校庭等の利用と昼食の提供	第1弾	4月～5月	真にやむを得ない事情により、家庭で過ごすことが困難な児童・生徒を対象として4月15日から5月までの休校期間中において、学年・時間別の校庭の利用と、学童保育所入所児童を除く小学校1～3年生の教室を利用した見守りを行うとともに、1日約200～300人の希望者に対して昼食を提供しました。	指導課 (内線3242) 学務課 (内線3236)
12	4小・中学校における学習・感染症対策支援及び保護者負担の軽減	児童・生徒1人1台タブレット端末の整備	第1弾	6月～	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、教育課程に遅れが生じることが懸念されており、家庭で学ぶことができる環境を確保するとともに、個別最適化された学びを実現するため、市立小・中学校のICT環境として、児童・生徒1人1台のタブレット端末等の整備に向けた事業者選定を行いました。あわせて、全市立小・中学校における無線LANのアクセスポイントの増設工事等を実施するなど、インターネット回線を含む良好な校内通信環境の確保に向けた取り組みを進めています。</p> <p>タブレット端末の効果的な活用については、市立小・中学校の教員から「三鷹GIGAスクールマイスター」及び「三鷹GIGAスクール研究開発委員」を委嘱し、定期的な連絡会議を開催するなど、円滑に導入が進められるよう協議と研究開発を行っています。</p> <p>さらに、教員や児童・生徒がタブレット端末を円滑に利活用できるよう、タブレット端末等の操作や活用等の支援を行うため、東京都の補助制度を活用した端末導入支援員について9月補正予算に計上し、競争により事業者を決定しました。現在、令和3年1月からの配置に向けて、事業者と協議を行っています。</p>	総務課 (内線3252)
13	4小・中学校における学習・感染症対策支援及び保護者負担の軽減	家庭学習を円滑に進めるための学習課題の送付	第1弾	4月～5月	4月16日から、各学校で児童・生徒に学習課題等を送付するとともに、学校ホームページへ学習課題を掲載し、家庭学習を円滑に進めるための支援を行いました。また、学習状況や体調面等を把握するため電話等により児童・生徒及び保護者と連絡をとり、教員による電話相談等のフォローアップや必要な情報収集を行いました。	学務課 (内線3232) 指導課 (内線3242)

## 新型コロナウイルス感染症 三鷹市緊急対応方針に基づく取り組みの実施状況（令和2年10月31日現在）（抜粋）

No.	項目	事業	方針	実施時期	実施状況	連絡先
14	4 小・中学校における学習・感染症対策支援及び保護者負担の軽減	クラウド型の自律学習応援プログラムを活用した学習支援	第1弾	4月～11月	小・中学校の臨時休校期間中、児童・生徒が家庭でオンライン学習ができる自律学習応援プログラムを提供し、4月から運用を開始しています。	指導課 (内線3242)
15	4 小・中学校における学習・感染症対策支援及び保護者負担の軽減	オンライン学習の環境整備	第2弾	6月～11月	休校等期間中における家庭でのオンライン学習のため、学習支援クラウドサービスを全児童・生徒が利用できる環境を整備するとともに、家庭での通信環境が整っていない場合など、状況に応じて学校に配備しているタブレット端末やモバイルルーターの貸与を6月8日から開始しました。さらに、利用希望調査でスマートフォンなどを利用しているとした家庭などを対象に、追加でモバイルルーターやタブレット端末の貸与を行っています。	総務課 (内線3252) 指導課 (内線3242)
16	4 小・中学校における学習・感染症対策支援及び保護者負担の軽減	電話、訪問による児童・生徒の心のケアの充実	第1弾	4月～	市ホームページ及び学校ホームページに相談先や、新型コロナウイルス感染症の正しい情報の伝え方、お子さんの不安な気持ちを和らげる声のかけ方等を掲載し、周知をしています。また、総合教育相談室に来所を希望する場合は、「3密」に配慮しながら相談に応じています。各学校においては、支援の必要な家庭について電話等で近況を聞き取っています。これらの対応について「調査シート」にまとめ、教育委員会と子ども家庭支援センターが情報を共有し、連携した支援を行っています。	学務課 (内線3291)
17	4 小・中学校における学習・感染症対策支援及び保護者負担の軽減	小中学校の分散登校及び教員による個別面談の実施	第2弾	5月～	5月11日以降、各学校において分散登校日を設定し、登校日には、週単位の学習計画表による学習進捗状況の確認、週単位の健康チェック表による健康状況の確認等を行い、教員との交流による心の安定及び自宅における学習意欲の向上を図りました。登校を控えたい家庭については、週1回の電話確認や、個別登校により対応しました。 また、希望する児童・生徒には、個別の面談を設定し、教員やスクールカウンセラーが本人、必要に応じて保護者と面談し、一人ひとりの心のケアや学習に関する質問等に対応しました。	指導課 (内線3242)

## 新型コロナウイルス感染症 三鷹市緊急対応方針に基づく取り組みの実施状況（令和2年10月31日現在）（抜粋）

No.	項目	事業	方針	実施時期	実施状況	連絡先
18	4 小・中学校における学習・感染症対策支援及び保護者負担の軽減	1学期中における学校給食費の一部公費負担	第3弾	8月～10月	新型コロナウイルス感染症の影響による家計への負担を軽減するため、1学期中における学校給食費の2分の1額を公費負担としました。必要経費について各市立小・中学校長あてに補助金を交付し、学校を経由して10月上旬までに保護者に返還しました。	学務課 (内線3236)
19	4 小・中学校における学習・感染症対策支援及び保護者負担の軽減	就学援助の対象者の拡充	第3弾	8月～	就学援助の認定基準（前年度所得）を満たさない場合においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休業や解雇等により収入状況が急変した世帯が就学援助の対象になるよう要件の緩和を行い、8月に保護者向けに周知しました。 8月末までに申請のあった保護者に対して9月下旬に認定の可否を通知し、認定者64人に対して10月に1学期分の就学援助費を支給しました。今後は、申請月に応じて審査を行っていきます。	学務課 (内線3232)
20	4 小・中学校における学習・感染症対策支援及び保護者負担の軽減	宿泊を伴う行事における感染症対策	第3弾	[自然教室] 小学校 10月～11月 中学校 1月～2月  [修学旅行] 中学校 2月～3月	小学校自然教室については、2学期への延期とともに2泊3日に日程を短縮し、学園内2校の合同実施を学校ごとの実施に変更しました。現在、10月5日から11月19日にかけて、順次、各小学校の自然教室を実施しており、一部屋当たりの人数や入浴時の人数の制限、食事の際に向き合わないようにするなどの工夫を行っています。 中学校自然教室については、移行期としての中学一・二年生2学年での実施は見合わせ、中学二年生のみで実施することとしました。小学校自然教室での実践を踏まえ、さまざまな工夫を行いながら、1～2月に実施する予定です。 修学旅行については、現在の感染状況を考慮し、感染リスクを回避するために、全7校について2・3月に延期することとしました。 なお、自然教室や修学旅行の実施に当たっては、3密を回避するために、観光バスの借上げ台数を増やし、乗車人数を減らすことで、感染拡大の防止に努めます。	指導課 (内線3242)

## 新型コロナウイルス感染症 三鷹市緊急対応方針に基づく取り組みの実施状況（令和2年10月31日現在）（抜粋）

No.	項目	事業	方針	実施時期	実施状況	連絡先
21	4 小・中学校における学習・感染症対策支援及び保護者負担の軽減	学校再開後の教育活動の支援	第3弾	7月～	学校再開後における感染症予防対策の実施に当たり、教員の負担が増大していることから、東京都の補助金を活用し、7月から順次、教育活動支援員を拡充配置し、児童・生徒の学びの保障を支援しています。全市立小・中学校を対象に、各校2名分の配置を予算化したところ、10月31日時点で全校での配置が完了しており、教育活動全般の支援を行っています。	指導課 (内線3242)
22	4 小・中学校における学習・感染症対策支援及び保護者負担の軽減	小・中学校における感染症防止対策等への支援	第3弾	8月～	感染リスクを最小限にしながら、児童・生徒の学びの機会を保障していくため、「新しい生活様式」に対応した感染症防止対策として、消毒や換気などにより衛生環境を確保するための網戸、空気清浄機、レバー式水道栓や、飛沫防止用のアクリル板の設置など、学校現場が必要とする物品を購入し、環境整備を進めています。	学務課 (内線3232)
23	4 小・中学校における学習・感染症対策支援及び保護者負担の軽減	教育コンテンツ放映の試行	第3弾	8月	株式会社ジェイコム東京との連携により、三鷹市・武蔵野市の教員による学習動画を作成し、児童・生徒が規則正しい生活ができるよう、8月3日～31日に試行的に放送しました。ケーブルテレビでの放映ほか、YouTubeの三鷹市公式動画チャンネルで配信しました。 今後、本放送・配信の効果を検証し、コロナ禍における学習のあり方を検討する上での参考にしていきます。	指導課 (内線3242)
24	6 市民の感染症予防のための環境整備	マスク、アルコール消毒液、非接触型体温計の購入と調達支援	第1弾	5月～7月	マスクについては、5月下旬及び6月下旬に各回約8万枚を介護サービス事業者へ配付し、6月中旬及び7月上旬に各回約5万2千枚を障害福祉サービス事業者へ配付しました。また、3月から5月にかけて約9万枚を児童福祉施設等へ配付しました。 アルコール消毒液については、在庫がひっ迫している児童福祉施設等に配布しました。 非接触型体温計については、6月中に市内公共施設、福祉・介護事業所、児童福祉施設、市立小中学校等に配布しました。	健康推進課 (内線4201) 契約管理課 (内線2256) 障がい者支援課 (内線2651) 介護保険課 (内線2684) 子ども政策部 (内線2711) 学務課 (内線3236)

## 新型コロナウイルス感染症 三鷹市緊急対応方針に基づく取り組みの実施状況（令和2年10月31日現在）（抜粋）

No.	項目	事業	方針	実施時期	実施状況	連絡先
25	6 市民の感染症予防のための環境整備	オンラインでの会議や講座の開催	第3弾	[講座] 5月～ [市民協働センター] 10月 [地域ケア] 8月～	生涯学習講座や三鷹ネットワーク大学による講座をオンラインで開催しました。 実績：「多摩と三鷹の方言を学ぶ」、「古民家でオンラインお月見」 三鷹ネットワーク大学のオンライン講座 開催件数：37コマ 受講者数：558人 市民協働センターに、オンライン会議や講座の開催のためのデジタル機器等を整備しました（コミュニティ創生課）。 地域ケアネットワーク推進事業については、複数の地域ケアネットワークで、オンライン会議の練習会や体験会を実施しました。また、委員の一部はオンラインでの会議参加や打ち合わせをしています（地域福祉課）。	生涯学習課 (内線2920) ネットワーク大学 (40-0313) コミュニティ創生課 (内線2511) 地域福祉課 (内線2662)
26	6 市民の感染症予防のための環境整備	各種申請手続き等の郵送化の推進	第1弾 第3弾	[国民健康保険] 6月～ [自立支援医療] 4月～ [家庭系ごみ] 9月～3月 [保育園及び学童保育所] 10月～11月 [のびのびひろば] 9月～	国民健康保険の一部の加入手続き（職場などの健康保険をやめたとき等）については、新たに郵送による対応を行っています。 これまで窓口対応を原則としていた障害者手帳の申請、交付について、郵送での対応を開始したほか、自立支援医療制度に関する申請書の送付、受付等についても郵送での対応を行っています。 家庭系ごみ指定収集袋減免申請手続き及び交付について、郵送対応を行っています（ごみ対策課）。 保育園及び学童保育所における令和3年度の一斉入園（所）受付については、会場での3つの密を低減するため、郵送での申請も可能としました（会場等での対面方式も併用）。また、のびのびひろばで実施している一時預かり事業等の新規登録、更新手続きについても、郵送対応とします（児童青少年課・子ども育成課・子ども発達支援課）。	保険課 (内線2382) 障がい者支援課 (内線2659) ごみ対策課 (内線2533) 児童青少年課 (内線2711) 子ども育成課 (内線2735) 子ども発達支援課 (内線2742)

## 新型コロナウイルス感染症 三鷹市緊急対応方針に基づく取り組みの実施状況（令和2年10月31日現在）（抜粋）

No.	項目	事業	方針	実施時期	実施状況	連絡先
27	6 市民の感染症予防のための環境整備	乳児家庭全戸訪問に係る子育て情報と絵本の郵送化	第1弾	4月～	4月27日から、民生委員による乳児家庭全戸訪問（こんにちは赤ちゃん）事業に代えて、同事業で配布している絵本や各種子育てに関する案内を乳児家庭に郵送し、適時適切な情報提供に努めています。また、7月からはアンケートを同封し、乳児家庭の状況把握に取り組んでいます。	子ども発達支援課 （内線2770）
28	6 市民の感染症予防のための環境整備	対話支援システムによる窓口環境の向上	第3弾	11月～	市役所窓口へのアクリル板設置等の感染予防措置により、声が聞き取りづらい状況となっていることを踏まえ、音の拡散防止や声の明瞭度を上げて聞き取り易くする機器を設置していきます。	高齢者支援課 （内線2625） 子ども政策部 （内線2734）
29	6 市民の感染症予防のための環境整備	市内の公共施設の利用の再開	第2弾	6月～	新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、市内公共施設等の利用を5月31日まで一時休止していましたが、5月25日に東京都への緊急事態宣言が解除されたことから、東京都の「新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ」を踏まえ、感染拡大防止のための各施設の衛生管理を徹底したうえで、6月1日から段階的に利用を再開しています。各施設の再開状況については、市ホームページ（下記URL）をご覧ください。 [URL] <a href="https://www.city.mitaka.lg.jp/c_anzen/085/085649.html">https://www.city.mitaka.lg.jp/c_anzen/085/085649.html</a>	各所管課
30	6 市民の感染症予防のための環境整備	年内に実施を予定しているイベントの自粛	第2弾	4月～	各イベントについては、市ホームページや広報みたかをご覧ください。	各所管課



## 新型コロナウイルス感染症 三鷹市緊急対応方針に基づく取り組みの実施状況（令和2年10月31日現在）（抜粋）

No.	項目	事業	方針	実施時期	実施状況	連絡先
31	8 心と体の健康を維持していくための支援	教養、文化、スポーツ、子育てに関する動画配信	第1弾	4月～	4月8日から三鷹ネットワーク大学の講座の配信を開始し、その後は、すすくひろばや多世代交流センターの親子あそびや星と森と絵本の家の絵本作品公募入賞作品の読み聞かせ、三鷹の森ジブリ美術館の動画日誌、FC東京の選手が外出自粛を呼びかける動画やストレッチ・体操動画、三鷹歴史文化財展示室「みたかえる」紹介動画など、多世代に向けた幅広い配信を行い、10月までの視聴回数は10万回を超えました。	広報メディア課 (内線2134) 児童青少年課 (内線2666、2667) 子ども発達支援課 (内線2741) 芸術文化課 (内線2910) 生涯学習課 (内線2920) スポーツ推進課 (内線2930) スポーツと文化財団 (内線4610)
32	8 心と体の健康を維持していくための支援	リサイクル図書を活用した児童用図書の宅配	第1弾	4月～5月	幼児向け、低学年向け、中・高学年向けに4月21日～5月9日に計3回募集を行い、240件宅配しました。	図書館 (内線3355)
33	8 心と体の健康を維持していくための支援	図書館企画展示のホームページでの公開	第2弾	5月～	5月21日～6月10日にかけて、「『三鷹文学散歩』発刊30周年記念展示」(その1、その2)、太宰と弟子たち展示資料(その1)をテーマに図書館サイトで紹介しました。7月15日からは、太宰と弟子たち展示資料(その2)を公開しています。	図書館 (内線3355)
34	8 心と体の健康を維持していくための支援	図書館での音楽配信サービスの対応	第2弾	5月～	各図書館のカウンターで手続きしていた、自宅のインターネット環境で音楽を楽しむ配信サービス利用について、5月1日～6月22日にメールでの手続対応を行い、69件の利用IDを発行しました。	図書館 (内線3355)

## 新型コロナウイルス感染症 三鷹市緊急対応方針に基づく取り組みの実施状況（令和2年10月31日現在）（抜粋）

No.	項目	事業	方針	実施時期	実施状況	連絡先
35	8 心と体の健康を維持していくための支援	予約済図書資料の引き渡し	第2弾	5月	臨時休館前の3月27日までに予約された資料について、電話でのスケジュール調整の上、5月13日から三鷹市立図書館全館及び井の頭コミュニティ・センター図書室で引き渡しを行いました。最終日の5月31日までの間に、1,724人分2,813点の資料のうち1,321人分2,300点の資料の引き渡しを行い、残部は再開館後に貸出しを行いました。	図書館 (内線3355)
36	9 感染症予防対策の推進体制	要配慮者や子どもへの虐待対応などの相談	第1弾	5月～	<p>高齢者に対する相談窓口については、地域包括支援センターを紹介しています。</p> <p>障がい者に対する虐待等への相談窓口については、基幹相談支援センターにおいて、適宜対応しています。</p> <p>子どもに対する虐待等では、在宅生活が長引く中、家庭内暴力や児童虐待のリスクを抑制するため、子ども家庭支援センターりぼんを中心に相談窓口の周知を積極的に行うとともに、要支援家庭へのアプローチを継続的に実施して、児童虐待等の防止に努めています。また、教育相談員やスクールソーシャルワーカーと連携し、小中学校臨時休校中から引き続き、児童・生徒の心のケアに取り組んでいます。</p>	<p>高齢者支援課 (内線2621)</p> <p>障がい者支援課 (内線2656)</p> <p>子ども発達支援課 (内線2770)</p>